



東京地区生コンクリート協同組合  
〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目2番5号  
電話番号 (03) 3271-2181  
発行責任者 吉村洋

## 協組の動き

(2019年1月)

7日(月) 新年賀詞交歓会  
15日(火) 理事会(No. 1090)  
28日(月) 理事会(No. 1091)

(2月)

12日(火) 理事会(No. 1092)  
25日(月) 理事会(No. 1093)

経営者・共販セミナー  
(東京都生コン工業組合主催)

日時: 2月22日(金)  
15時~

場所: 第一ホテル東京

(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
12月(実績)	19年1月(想定)	12月(実績)	
前年比	前年実績比	前年比	
大型 277,877 m <sup>3</sup>	96.0%	230,000 m <sup>3</sup>	101.6%
小型 30,553 m <sup>3</sup>	85.4%	30,000 m <sup>3</sup>	119.1%
計 308,430 m <sup>3</sup>	94.8%	260,000 m <sup>3</sup>	103.4%
引合	247,360 m <sup>3</sup>	2550.1%	
成約	202,710 m <sup>3</sup>	3118.6%	
契残	3,516,029 m <sup>3</sup>	56.4%	

「まあいいや」見逃す気持ちに せまる事故

むさしの生コン株式会社

## 平成31年新年賀詞交歓会

## 適正価格の獲得

当協組は恒例の新年賀詞交歓会を1月7日(月)に第一ホテル東京(港区新橋)にて開催しました。本年は仕事始めとも重なりましたが450名を超える方々の参加を頂きました。

最初に主催者を代表して、斎藤理事長から挨拶がありました。

平成30年度の当協組出荷数量は五輪関連需要や大規模再開発需要等に支えられ、前年比で3%増の355万m<sup>3</sup>を見込んでおり、平成20年度の351万m<sup>3</sup>を10年振りに上回る可能性が出てまいりました。

平成31年度の出荷数量については、ゼネコンへのヒヤリングにより秋ごろまでがオリンピック関連の工事のピークと予想され、人手不足や工法の変更といった下振れリスクもあり、平成31年度の需要想定を345万m<sup>3</sup>としております。

価格に関しては一昨年12月引合分から1,000円/m<sup>3</sup>の価格改定を実施していますが、ユーザー各位から7割程度のご理解を得ていると認識しております。しかしながら新規物件の引合が少なく、想定を上回る原材料費、輸送費、労務費のアップを吸収するまでには至らず、経営環境はいまだ厳しい状況が続いております。

このような状況下、協組としては以下の4点を本年の最重要課題として取り組んで参りたいと思います。



斎藤理事長

## 1. 適正価格の獲得

1,000円/m<sup>3</sup>の価格改定は未達であり、輸送コスト・資材コスト対策、人材確保の観点から必ずや満額獲得を達成してまいります。また、旧契約物件も多く残っており、24か月超の物件の価格改定にも取り組む必要があります。

## 2. 安定供給の確保

適正価格をお願いするからには高品質の生コンを安定供給することが我々の責務です。ただし、周辺協組も需要が旺盛となりアジテータ車の融通も困難になっています。予定が入りづらい状況の中、昨年11月に当協組としてできる限りの対策を実施いたしましたので、ご理解頂きました。

## 3. 戻りコン・残コン、出荷

## キャンセルの削減

削減していただくことを目的に有償化制度を導入しましたが、残念ながら増加しております。安定供給、コスト削減の両方の観点で生産者と需要家双方にとって有意義なことから、引き続き削減をお願いしています。

4. 生コン産業のイメージアップ  
推進

昨年の「東京都150周年」事業への協賛、全生の「なまリンちゃん」でのPR活動、11月には東京協組のキャッチコピー「コンクリートで夢を形に!!」を制定しました。今



右から斎藤理事長、西森・松本・田中・山下各副理事長

後も、若い人材を引き付ける生コン産業のイメージアップに繋がるべく施策を推進して行きたいと思います。

以上の取り組みを進めるに当たり、

- ① まずは、ゼネコンとの相互理解を深めること、
- ② 次に、販売店、商社との連携を深めること、
- ③ 最後に、組合員皆さん的一致団結を強化していくこと、



大西流通委員長

続いて来賓を代表してセメント協会の大西利彦流通委員長(住友大阪セメント取締役専務執行役員)より以下の挨拶を頂きました。

中庸熱セメントの供給問題については協組に大変なご協力を頂いている。

昨年は年次に、大阪と北海道で地震、西日本で豪雨と台風、そして猛暑日、と天変地異の連続で、これまでの常識は通用しないという前提で行動することが必要だ。幸い3年間で7兆円という公共事業も決まり、これらを大いに活用していかたい。

セメントの出荷量は2017年度に4,188万トンと4年ぶりに前年を超えて、18年度も関東の五輪需要ほか各地区的プラス要因から4,250万トン程度と更なる増加を見込んでいる。

千支の最後である亥年は次のステージ

の3点が重要と考えて進めて参りますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

去年の一文字は『災』という字が選ばれましたが、今年は災い転じてということから『福』とか『幸』という文字になればと願っています。本年は公共投資も大幅に増えます。防災・減災に対して我々が貢献できることが多くありますので、そうした課題に対して地道に努力していきたいと思っております。

への準備期間ともいわれている。全国トップの東京協組は是非とも猪突猛進で生コン業界を引っ張って行っていただきたい。その実現のためセメント業界も一丸となって安定供給に全面協力させて頂きたい。



浅野卸協理事長

その後、東京生コンクリート卸協同組合の浅野一理事長より以下の乾杯のご挨拶を頂きました。

需給環境が厳しくなっているなかで、流通・販売店の立場で最大限の結果を出せるように、生協に寄り添ってこの一年間頑張っていただきたい。

今年の最大の課題は、生協からも言わされているように、適正価格の実現に向け結果を出していくことと考えている。

最後に“コンクリートで夢を形に！！”で乾杯のご発声を頂きました。



## 両親への感謝

むさしの生コン株式会社  
小柳 幸弥

高校を卒業し、就職をして1年半以上が経ち、少しずつですが仕事にも慣れてきました。最初の頃はわからない事ばかりで先輩や上司の方々にもかなりのご迷惑をおかけしたと思います。ただ、やっぱり一番迷惑をかけたのは両親だと思います。私が困っているときにアド



バイスをくれたり、時にはわからないことや納得がいかないことがあったときに相談に乗ってくれたりもしてくれました。

学生の頃は親がやってくれて当たり前、親が払ってくれるお金で高校や大学に行かせてもらうのが当たり前などの

自分勝手で甘い考えがありました。

ですが、就職をして仕事の大変さ、お金を稼ぐことの大変さ、様々な人とのコミュニケーションなど身を以て実感し、両親がどれだけ苦労して働いてここまで育ててくれたのかが初めて身に染みてわかりました。

二十歳になった今、これから両親はもちろん、お世話になった方々に感謝の気持ちを忘れずに、自分なりに目標を持ち日々の仕事に取組み、両親に少しずつ親孝行していきたいと思います。

## 20歳を迎えて

関東宇部コンクリート工業株式会社  
溝の口工場 品質管理課 本橋 航

私は今年20歳を迎えました。

両親や周りの人たちに支えられ無事に20年間過ごしてこれました。

これからは大人として、自分の行動に責任を持ち、今まで支えられてきた沢山の人たちに感謝し、自分なりの目標を持ち、これから的人生を生きて行こうと思います。

20歳という大きな節目を迎え、お酒

## 新成人おめでとう



が飲めるようになったり、様々なことが自分で決めるようになったりと、大人の仲間入りをしました。

しかし、仕事では業務のやり方を先輩達に教えてもらいながら就職して1年半以上経ち、一通りできるようになったと思ってましたが、実際はまだ覚えることが多く、社会人として、まだまだ未熟です。早く仕事を覚えて安心して仕事

を任されるようになりたいです。

今は、できることはちゃんとやること、そして、まずは先輩から言われた「元気よく挨拶する」を心掛けています。

これから色々な経験をして、今まで以上に気を引き締め、社会人として成長できるように、日々精進していきたいと思います。

## キャッチコピー 最優秀作品を表彰

当協組は1月7日の新年賀詞交歓会の場で、キャッチコピー最優秀作作者の古澤雅人さん(東京エスオーシー・狛芝浦工場)を表彰しました。古澤さんは受賞の喜びとして、「シ

ブルで分かりやすくをコンセプトに創作しました。コンクリートは生活を豊かにするうえで欠かせない材料であり、みんなの夢や想像を形にする力があります。多くの建造物の基礎資材として使われていることを一般の方に知ってもらう一助になればと願っています。」とコメントしました。



斎藤理事長から表彰を受けける古澤さん

## 幸運の鼻先

東京駅に猪が出没するのをご存じでしょうか。もちろん生きた動物ではなく、ブロンズ像です。東京駅八重洲地下街の一角に鎮座しまして、今年の出番を待ちかねていたかのように、今まさにくつと立ち上がる様です。

ルーツは16世紀にローマ法王がメディチ家に寄贈した大理石像にまで遡り、その模造がフィレンツェの新市場にあり、鼻先を撫でると幸運をも

たらす「幸運の仔豚」と呼ばれる地元民や観光客に親しまれています。東京駅の仔豚(猪)はそのまま複製で全身が錆を帯びていい艶を醸し出していますが、そのご利益にあやかるべく多くの人の手により鼻先だけが黄金色に輝いています。

フィレンツェ迄はちょっと、という皆様は東京協組において際には、ほんの少しだけ回り道して幸運を掴まえに行くというのはいかがでしょうか。



幸運の仔豚像  
(ポルチエリーノ)

## わが社の イメージアップ

### 日本強力 コンクリート工業(株)



「わが社のイメージアップについて」というお題をいただき、まずこれまでどんな取り組みをしてきたらどうかと考えてみましたが、浮かんできたのは若洲協議会の一員として参加している若洲地区の定期的な清掃作業「若洲地区クリーンアップ作戦」ぐらいでしょうか。もちろん実践内容としては皆様も常日頃からやられている事かと思いますが、2020年東京オリンピック開催を控え、ケースによっては海外から来る方々の目にとまる事があるかもしれません。日本という国はどこに行っても整然とした美しいところだという印象を持って帰っていただくよう、周辺美化にはこれまで以上に注力していきたいと思います。

さてその次の取り組みはと頭を悩ませてみましたが、とんと浮かんできません。そこでここからは今後どんなイメージアップについて取り組んでいきたいか述べたいと思います。

生コン業界における人材確保難が叫ば



れて久しい中、その一つの要因として一般の方々への認知度が非常に乏しい事が挙げられると思います。それを改善し、イメージアップ、ひいては人材確保につなげていけるよう、弊社もホームページを開設する事としました。

現状は会社概要程度の情報量しかありませんが、ダイバーシティが叫ばれる昨今多様性を受け入れ広く人材を活用できる企業を目指している事を分かりやすく紹介していくよう、従業員からも様々な意見をもらってバージョンアップしていきたいと思います。また併せてオリンピック関連施設などの国家的なプロジェクトや、虎ノ門や日本橋などのビジネス街における再開発に弊社の製品が使われている事もホームページ上に紹介させていただき、首都東京の更なる発展に微力ながら寄与している事もPRできればと考えています。

こうして改めてわが社のイメージアップについて考えてみると、オリジナリティのあるアイディアがなかなか浮かんでこないことに歯痒さを感じますが、今回の原稿依頼によって良い機会をいただいたとも思いますので、常に社のイメージアップ、ひいては生コン業界全体のイメージアップを意識して企業活動していくよう心がけていくつもりです。